

各種大会開催(練習試合)運営に関するガイドライン
(新型コロナウイルス感染拡大防止対策)

令和2年5月20日 連盟企画運営部長発

赤字は支部で補足したもの

○大会運営について

1. 運営(球場)責任者及び運営役員3名、放送1~2名、記録1名、グラウンド整備等運営補助者5名程度、室内本部は必要最低限の者とし、屋外(スタンド)とする。
 - ・運営(球場)責任者及び運営役員3名 → 2試合4代表を基本とする(支部選任役員も特定球場に集中しない割振り)
 - ・放送1~2名、記録1名 → 試合前後の放送器具除菌
 - ・グラウンド整備等運営補助者5名程度 → 従来どおり4名とし、トンボ、ラインカーも除菌する。
 - ・室内本部は必要最低限の者とし、屋外(スタンド)とする → 球場責任者+試合代表
2. 試合間隔は試合時間含め3時間を取り 密にならないよう運営する。
 - ・1日2試合 第1試合9~12時(8時到着、試合終了後速やかに球場から退場)
第2試合13~16時(12時到着)
 - ・1日3試合 第1試合8~11時(7時開門到着、試合終了後速やかに球場から退場)
第2試合11時30分~14時30分(10時30分到着、
試合終了後速やかに球場から退場)
第3試合15~18時(14時到着、試合終了後、清掃し速やかに退場)
3. 試合ベンチはグラウンド内にもスペースを広げ、防球ネット等で安全対策を行い密度が高くないように設営する。
 - ・防球ネットを準備できるところは良いが、難しいところは、ベンチ内の人数を少なくするように攻撃時はスタメン以外のベンチメンバーの多くがスタンドへ移動する。守備になったらベンチへ戻る。
 - ・20名の場合、攻撃9名、ランナーコーチ2名、スタンド9名(守備のベンチは選手11名、指導者等3名)。
 - ・25名の場合、攻撃9名、ランナーコーチ2名、補助1名、スタンド13名(守備のベンチは選手16名、指導者3名、ちょっと多いので交代しながら5名がスタンド)
4. チーム到着時、帰途時の挨拶は「無し」とし メンバー表等の提出のみとする。
5. 試合前審査は審査証確認及び道具審査のみとし 代表のみが立ち会う。また試合前のメンバー表交換の集合は 球場責任者、審判、監督、主将で行う。

- ・選手資格審査は、エントリー表と資格審査証でチェックをする（どうやるか?）
 - ・メンバー交換時の握手なし、球場責任者からコロナ対策をしっかりと説明する
6. 接待は「無し」とし 飲料(個別ペットボトル)、弁当等は 1ヶ所に準備し各自で取りに行くこととする。
- ・審判員にスポーツドリンクを1試合1本、役員はお茶1本?
 - ・第1試合（1日3試合の場合は第2試合）球場責任者チーム（放送担当でないチーム）が飲料、弁当をまとめて購入し、本部席と審判席に分けて置く（飲み物を冷やすギアは役員、審判とも各自がそれぞれ用意する）
7. 本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。
- ・ベンチ内は各チームで対応する
 - ・本部席、トイレは球場責任者チームが用意し、第2試合（第3試合）終了後に球場責任者が責任をもって持ち帰る。 大会経費の「その他経費」で精算する。
8. 試合会場入りは1時間前とし、試合終了後は速やかに会場より退出する。
- ・駐車場も含めて、出入りが出来るだけ重ならないように、次の試合チームは1時間前以降に入る。早く入らない。車で待機するなどの対応を取る。
9. 大会主催者は検温計、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。
- ・検温計は各チームで用意。各チームは分かれて活動する場合に備えて少なくとも2個以上の検温計をチームで整えること
 - ・ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備は球場責任者チームが用意し、経費精算する

○試合に関して

1. 打席、守備につくとき以外はベンチ内に於いてはマスク着用とする。
2. 指示、掛け声は飛沫が飛ばないように大声を出さず行う、またメガホンは禁止とする
3. 試合開始、終了の挨拶は声を出さず 礼のみで行う。
 - ・整列は間隔を取って並ぶ
4. 捕手は防具を自ら着用し 補助者を使わない。
5. 審判はマスク着用し 判定コールは大声を出さずジェスチャーを大きく行ってジャッジをする。
6. マスクの着用は熱中症等のリスクが高くなる為 時間を取るなど配慮が必要です。
 - ・熱中症のリスクがより高いと判断される天候の場合は、熱中症対策を優先させる
7. 打者のバットをベンチに片づけるときはグリップあたりを持たないこと。次打者が使用すること

なくベンチにて除菌する。(除菌をする選手の手袋の除菌も必ず行う)

8. 打者走者のレガーツは、受取専用の袋に入れベンチに持ち帰り除菌する。(除菌をする選手のグローブ(手袋)の除菌も必ず行う)
9. イニング中に守備機会のあった選手、ボールに触れた選手はイニング終了後ベンチで除菌する。
10. 試合終了後のグラウンド整備を行う場合は、使用した器具(トンボ等)を除菌する。器具は手渡し等を行わず、一つの器具に触れる人数は1名限りとする。

○参加チームについて

1. 会場入りするチーム構成はベンチ入りの代表、監督、コーチ、マネージャー、選手 20(25)名以内及び保護者の応援はマスク着用し観客席にて2m以上の間隔を取り、声を出さず見学のみとする。
 - ・攻撃時にベンチ内人数を密にしないために選手をスタンドに移動させる場合は、ベンチに一番近い場所を事前に選手用として確保させる
2. チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行いチームのジャグ等禁止とする。またチーム役員、監督等の接待も禁止とする。
 - ・試合後のミーティングは行わない
3. 昼食を取る場合 対面にならないよう2m以上の間隔を取り会話を控え最低限の時間で済ませる。また他チームとの必要外の接触は避ける。
 - ・(駐車場のキャパシティに問題がなければ) 試合後の食事はスタンドで摂れる?
4. 大会会場へは1時間前以上早く入らない。また試合終了後は速やかに帰途に着くこと。
5. 選手移動については全ての車両に於いて こまめな換気を行い密閉、密集、密接にならないよう注意する。
6. 宿泊に於いては一人一部屋、室内でのミーティングをしない。食事の時は対面。密集にならないよう会話は控え速やかに食事をする。
7. 大会(試合)に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、消毒液など備品は各チームで準備し、選手、スタッフ、保護者の管理はチームで責任をもって行うこととする。